

414
A 3308

大隈四位

眞山五郎五郎
山口五郎五郎
後庄五郎五郎
純造



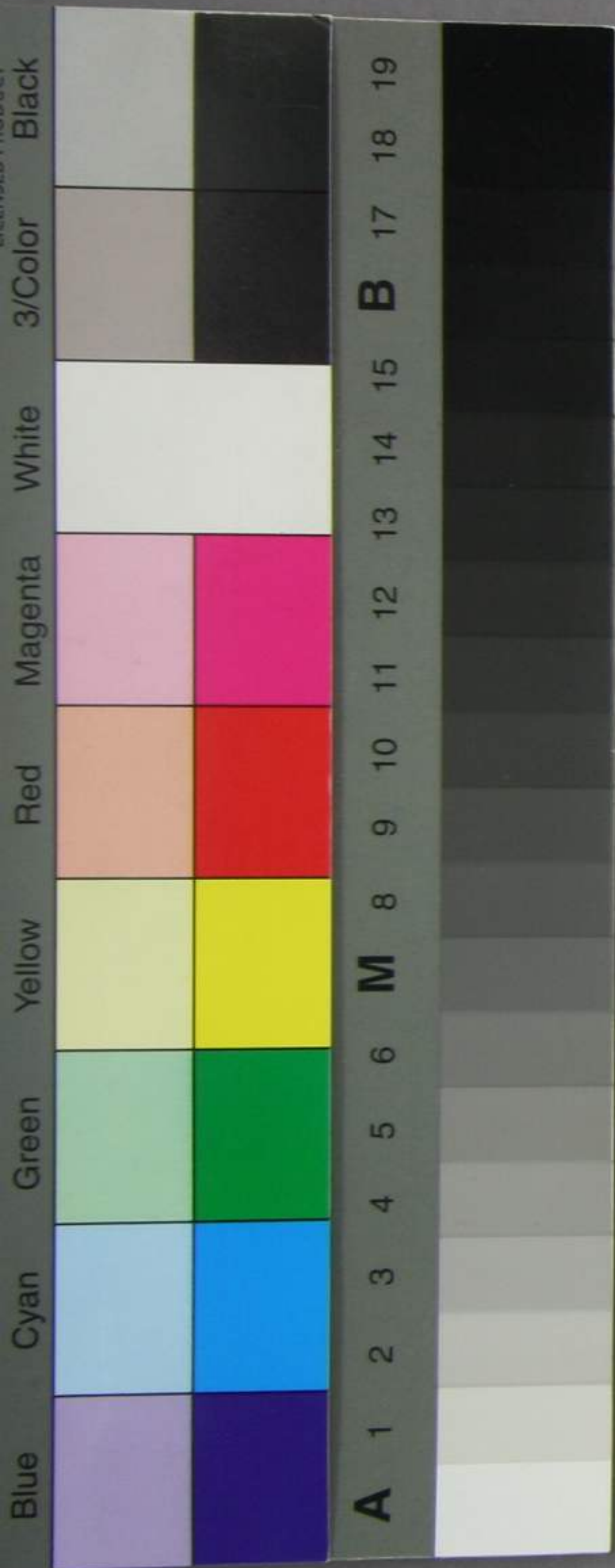
天皇國仕入前代... 國濟世者
元愷成... 國之口也

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈

吉川孝吉門
吹田四郎
青山大太郎
藤井五郎

監智司
利事
吉野

3740



大正十一年四月
大隈侯爵邸寄贈

吉川宗吉門

吹田四郎

青山大太郎

藤井五郎

3740

監智目

知事

判事

古

前代...之國...濟世...者

...令...組合...立...成...渡...事

...主...上...當...局...之...國...江...東...

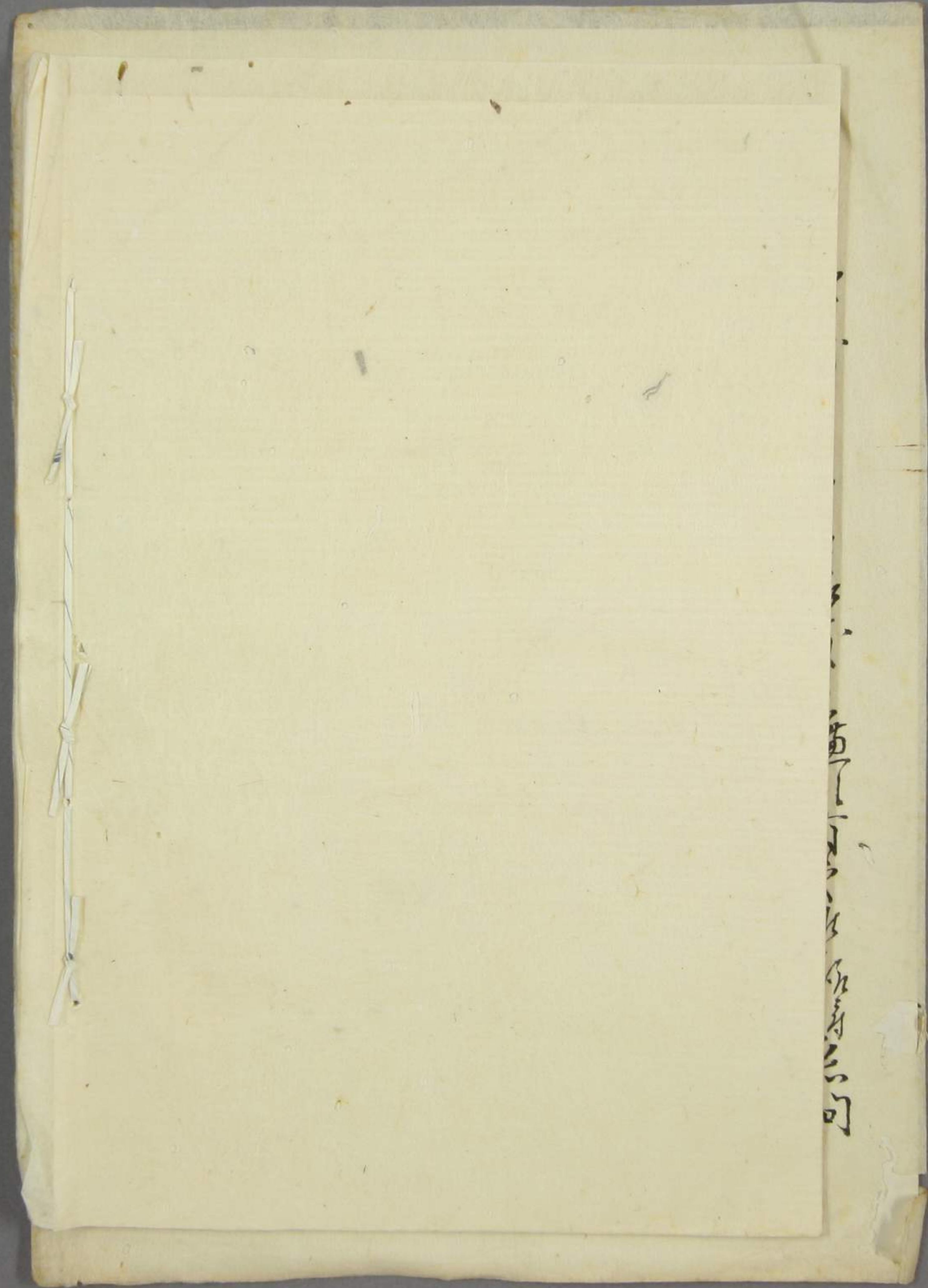
此...函...社...江...志...通...行...之...者...於...智...目...
...自...之...招...元...院...乃...其...之...向...時...昔...其...事...以...尔...
...之...事...由...中...函...之...事...也...
古

貸渡中は之を以て其の度は有之に其の旨問
居て呼ぶ事篤し其の旨は別紙に道中其旨
其の旨問は之を以て其の度は有之に其の旨問
貸渡中は物相廻り同様に渡り極高商人常押
大祓日数二十日作定其旨は洋銀を代り金
積金決算は之に尚又金札五万両を渡り其旨
左より方今洋銀五万両に打極一應は極合
之相成り作此旨問は

三六

上

佐原志登介



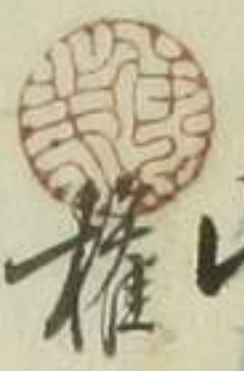
己未月之...

大隈 四位



高 五位

山代 五位



權 作

水 郎

庄 助

三 郎

車 右 郎

波 介

蚕卵紙養生系其外製茶亦生産引立方且

西條之為之智品出生之國



大正十一年四月

吹田 四位

郷 純 造

林 又七郎

若岡 精三郎

青山 大五郎

上

大正十一年四月
侯爵郵

查系生之國之市亦債之代洋
以相細了招市倫之廣一國具之知
今收合札至以正合同招每用之致
重之市州地之領出諸國之同招以
相中地之承知結立之均未西之
以多之角合札人之會於合而之招粗及

一 武州 相州 甲州 上州
信州 奥州

右之介諸國表裏之場所也
此乃西國之令札也
少之貿易之商數自然相增
自廣之液世也
之甲州之別也
武州甲上四國之故也

早稲月道之新生系也
金札相開之無異也
振立極少之令度也
市用系之未成也
此乃他種源者也
此乃手捌子之行也

持之了官處与付我深、必記、
也、何部合能、
三、以、
但、
揚、
水、

但當年卷、
揚、
水、

三、也、進、方、
七、月、中、
且、表、
重、
人、
以、

のりまのりま余帳正合並記之知後

増方不致のりま買方由東より屋正合

金三兩生京目方三拾目と京金札 武蔵

買入のりまのりま買入多し屋正のりま

増方買入のりま右拾目と屋正のりま

増方換合雅平在り屋正大合之りま

換銀之りま京間屋正のりま及多し屋正

増合 増方買入のりま屋正のりま

下

五音養音圖

武別 相分 甲分 上別 野分

帶分 上流 下流 西房 互別

跋別 志代 黎城 澄前 澄中

活矣 羽前 羽後

加分 能分 抑前 抑中 抑後

澤分

飛列

尾張

二分

惣分

遠分

丹波

丹後

但馬

江分

若分

早分

信分

右通分

三月